

## 窃盗犯罪の手口と対策: 2018年6月の邦人被害

2018年6月は、パスポートの盗難・紛失は2件でした。一般犯罪は減少傾向にあるとのことですが、スリ、置き引きは依然として多数発生しており、日本人旅行客の被害も報告されています(特にホテル内レストランでの朝食時、オスロ市のカールヨハン通り)。また、欧州各地で依然テロが発生していますので、引き続き安全確保に十分注意を払ってください。

### 1. 【置き引き】ホテル、レストラン、カフェ等での置き引き

ホテルの朝食会場で食事中、同席の人に見張りを頼んでビュッフェを取りに行っている間に椅子等においていた荷物が盗まれた。椅子に座って食事等をしている間に、椅子の背やテーブルの下、足下に置いていたバッグが盗まれた。テーブルの横で数個のティー・バッグを落とした人がいたので拾うのを手伝っている間に椅子においていたバッグが盗まれた。テーブルの上に置いたままのルームキーが無くなったのに気づき客室に戻ると、室内から貴重品が無くなっていた。チラシを配布するようなそぶりですりでテーブルに近付いた人に気をとられているうちにテーブルの上から携帯電話が盗まれていた。ホテルでのチェック・アウト時に家族に見張りを頼んで席を外している間に、スーツケースの上に置いていた手荷物が盗まれた。

対策: 短時間であっても、荷物等を置いたまま席を離れない。身の回りであっても注意の行き届かないところに荷物は置かない。ルームキーや携帯電話等はテーブルの上に置いたままにせずバッグ等にしまう。不自然な接近は注意をそらされているのではないかと疑う。

### 2. 観光スポット、空港、商業施設など人混みでの置き引き

ベンチに座って携帯電話を操作していたら、横に置いていた荷物が盗まれた。路上にて買い物袋とバッグを足に挟んで携帯電話を操作していたら、知らない間にバッグだけが盗まれていた。写真撮影をしている間に近くに置いていた荷物がなくなった。物を落とす、地図を見せて道を尋ねるなどして注意をそられ、その隙に置いていたバッグが盗まれた。

対策: バッグ等を置く場合は常に視界に入れ、注意を払う。貴重品は常に身につける。不自然な接近は注意をそらされているのではないかと疑う。

### 3. 長距離電車・バスでの置き引き

網棚に置いていた荷物がなくなった。座席確保のため置いたままにしていた貴重品の入った荷物がトイレから戻ると無くなっていた。

対策: 貴重品は常に身につける。網棚は視界に入る場所を利用する。

## 【スリ】

### 1. 観光スポット、商業施設、空港などの人混みでのスリ

観光スポットを散策中、ショルダーバッグやリュックサックのファスナー等を知らない間に開けられ、貴重品の入ったポーチをすられた。

対策: 鞆のチャック等はしっかりと閉めておく。身体の前で持つなど視界に入れておく。

### 2. 男性を狙ったスリ

ズボンの後ろポケットに入れていた財布やパスポートをすられた。

対策: ズボンの後ろポケットに財布など貴重品を入れない。

### 3. 話しかけスリ

多くの場合に複数で、上着が汚れていると声をかけたり、電車を降りる時など鞆を持ってあげると親切そうに手を貸したり、片言の日本語で親しげに話しかけたりしている隙に仲間がバッグやズボンのポケットから貴重品をすって逃走する。

対策: 声を掛けられても周囲の状況に気を取られすぎないように注意し、携行品にも気を配る。

## 【強盗】

強盗は減少傾向にあるとのことですが、特にオスロ市内で依然として強盗事件が発生していますので、御注意ください。

## 【参考情報: テロ】

ノルウェー警察は、最近の治安情勢を踏まえ、テロを未然に防ぐ活動を継続しています。不測の事態に巻き込まれないよう、最新の関連情報の入手に努め、不特定多数が集まる場所(イベント会場、観光地、繁華街等)を訪れる際や公共の場所や交通機関を利用するときには、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、などその場の状況に応じた安全確保に十分注意を払ってください。

安全対策のために、ノルウェー国外への旅行を予定されている方は「たびレジ」への登録をお願いします(詳細は

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/#> 参照)。また、外務省海外安全ホームページ (<http://www.anzen.mofa.go.jp/> 又は携帯版 <http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>) を御参照ください。

## 【参考情報】

1. オスロ中央駅付近は治安が良いとは言えず、特に夜は危険です。

2. 夜遅くの一人歩きは避けてください。また、特に女性は人通りの少ない道、公園などを一人歩きしないよう注意してください。

3. 夜、繁華街で酔客の喧嘩などに巻き込まれないよう注意してください。

4. (DNB 銀行のホームページの注意喚起から) 銀行からのメールを装った偽メールに記載のリンクを開いたり、口座番号などの個人情報を返信しないよう御注意ください。偽メールを受信した場合は取引銀行に御相談ください。

5. 住居への侵入窃盗

当地の警察は、長期間留守にするときは、親しい御近所の方に郵便物の回収を依頼したり、照明器具にタイマーをセットして在宅してい

るように工夫するなど用心すること、また、保険会社が推奨している鍵を取り付けたり、警備会社と契約することを勧めています。

6. ノルウェーに在住の皆様へ

ノルウェーではシェンゲン域内の国境検問の強化、フェリーでの ID 検査を実施していますので、ノルウェー国外へ旅行される際は、旅券及びノルウェーの滞在許可証を携行する等留意してください。

また、シェンゲン域外からノルウェーに戻られる時は、最初に入国するシェンゲン協定国で入国審査を受けることとなりますので、旅券及びノルウェーの滞在許可証を必ず携行する等御注意ください。